

大きくなって帰ってきてね

阿仁川でサクラマスの稚魚を放流

沢河川公園で行われ、5センチほどに成長し 催するサクラマスの放流式が4月2日、米内 た稚魚1000尾が、米内沢小学校の児童3 人によって阿仁川に放たれました。 阿仁川漁業協同組合(松橋三郎組合長)が主

って回遊し、一部はサクラマスになって2年 稚魚はヤマメとなって阿仁川に生息します。 後に生まれ故郷の阿仁川に戻り、川に残った 稚魚は、1年ほど川で成長したあと海に下

魚を見て、「大きくなって帰ってきてね」と声 児童たちは、放流されて元気に泳ぎ回る稚

をかけていました。



市道平里線の新平里橋

平里橋が竣工、

渡り初め

広い牧場に放たれ「モー」

最高

地で竣工式と渡り初めが行われました。 平里線の付け替え工事が竣工し、4月2日、現 本市小又字平里地内で進められていた市道・

願祭が4月28日、栄地区・堤沢地内の同牧場

市営鷹巣牧場の平成20年度入牧式と安全祈

鷹巣牧場で入牧式

供たちを先頭に渡り初めが行われました。 元住民ら約50人が参列。神事のあと関係者に よるテープカットに続いて、地元自治会の子 晴天の下で行われた竣工式には、関係者、地

になりました。 7m、延長49mで、大型車両も通行できるよう 改良が要望されていました。新平里橋は、幅員 た橋梁で、幅員3mと狭く、地元自治会等から 旧平里橋は、昭和47年の災害で緊急復旧し



新平里橋の渡り初めをする地区住民、関係者ら

されました。 が、「飼料の高騰など畜産農家を取り巻く環境 の成牛33頭、子牛10頭、の合わせて43頭が放牧 で行われ、赤牛(褐毛和種)と黒牛(黒毛和種) 入牧式では、放牧場利用組合の佐藤組合長

てたい」とあいさつをしました。 は厳しいが、丈夫で消費者に喜ばれる牛を育 このあと、囲いの扉が空けられると、牛たち

り、草をはんでいました。 は勢いよく飛び出し、牧場内を元気に歩き回



広い牧場に放たれ、のんびりと草をはむ牛たち

稚魚を放流する米内沢小学校の児童たち

利用者が1 50万人を突破

大館能代空港 開港から9年9か月目で

に達し、記念行事が行われました。 年7月の開港から9年10カ月で150万人 大館能代空港の乗降客数が4月28日、平成

の羽田行きの便で、乗客全員に記念品、子ども たちには全国植樹祭のキャラクター「森っち」 ぬいぐるみなどがプレゼントされました。 50万人を超えたのは、午後5 時50分発

進を図っていきたい 港管理事務所の成田優所長は、10周年イベン なども企画しながら、空港のPRと利用促 年間の搭乗者は、平成15年の17万585人 クに年々減少しており、昨年は13万7 人と14万人を割り込んでいます。 います。 県空



乗客全員に記念品などがプレゼントされました

平成20年4月28日 **7** 大館能代空港ご利用150万人達成

寺田知事と佐藤副市長が、同学園の看板を除幕

新学園がスター します

あきたリフレッシュ学園

板の除幕を佐藤副市長とともに行いました。 日、寺田県知事が訪れ、同園の発展を祈念し、看 委託施設 あきたリフレッシュ学園」を4月24 市の学童研修センタ-内に設置された県の

学園で、定員は30人、受け入れは6月からです。 も例がなく、県が先進的に取り組むものです。 り、学校復帰を目指します。この事業は全国で を通して、コミュニケー 態にある小・中学生の受入を目的に設置された から、何らかの理由で不登校、引きこもりの状 施している山村留学まとび学園と連携し、全国 秋田の大自然の中で、自然体験や農作業体験 あきたリフレッシュ学園は、平成5年から実 ション能力の向上を図



野外でのバンド生演奏を楽しむ来場者

市内外のバンドが空港で野外ライブ

あきた北空港ミュージックフェスタ

約300人の家族連れや音楽ファンが野外で 北空港のシンボルゾー 」(西嶋菊男実行委員長)が5月6日、あきた 第4回あきた北空港ミュージックフェ ン噴水広場で開かれ、

音楽活動のすそ野を広げようと、音楽活動をこのイベントは、空港の利用促進と音楽の リジナル曲やヒッ 様々で、各バンドとも持ち時間30分の中で、 やポップス、琉球音楽など音楽のジャ 行っている有志が集い始まったイベントです。 のライブ演奏を楽しみました。 市内外で活躍する6組のバンドが、 ト曲のカバー を交えての ロッ ク 演オも

9 広報きたあきた 20.5.16 広報きたあきた 20.5.16 8